

令和8年度 第1回東区まちづくり懇話会議事録（要旨）

1 開催日時

令和8年（2026年）7月13日（月） 13時30分～

2 場 所

東区役所101会議室

3 出席委員（順不同）

西森、田中、中釜、西原、井川、都崎、安部、吉村、入江

4 次 第

(1) 議事

(ア) 令和8年度まちづくり推進事業の概要説明【資料1】

(イ) 事業推進における課題解決および今後の事業方針について

（グループワーク）

議事発言要旨

●事務局

次第に沿って議事を進めていく。

(区長挨拶)

今後の議事につきましては、西森会長にお願いする。

◆会長

議事を進める。

議事（ア）「令和8年度東区まちづくり推進事業について」説明をお願いする。

●事務局

令和8年度東区まちづくり推進事業概要について事務局から説明。

◆会長

事業全般へのご意見については、この後のグループワークの中でご発言いただきたい。
続いて、第2部のグループワークへ移る。

事務局から説明をお願いしたい。

●事務局

グループワークのテーマを4つ設けており、それぞれにご意見を頂きたい。

時間は各15分程度とし、最後に各班から発表していただく。各グループにて進行をお願いしたい。

～ グループワーク ～

【テーマ1】地域力パワーアップ大作戦について

〈Aグループ〉

◎ 委員長

地域力パワーアップ大作戦については、地域側の参加が少ないという印象よりも、企業側の参加が増えてきたという印象がある。まずは地域の方々に事業の存在を知ってもらうことが重要であり、自治会長だけでなく実際に活動している公民館関係者やPTA、子ども会等にも情報が届くよう工夫が必要ではないか。

◎ 委員長

公民館活動に携わっているが、本事業については今回初めて知った。市政だよりだけでなく、LINEやInstagramなど複数の媒体を活用し、幅広い世代に周知すべきで

はないか。実際の取組事例や活動の成果が見える形で発信することで、参加への関心も高まると思う。

◎ 委 員

地域の困りごとが企業との連携によって解決した事例や、地域と企業がつながった成果を分かりやすく発信することで、「自分たちも参加してみたい」という動機につながるのではないかなと思う。

◎ 委 員

表彰制度については、多くの区民に知ってもらう機会として活用できると思う。東区民だけでなく、東区へ通勤・通学する人も含めて幅広く投票できる仕組みや、LINE、インスタグラム等を用いた投票方法を検討してもよいのではないかな。

◎ 委 員

地域では担い手不足が課題となっている。PTA や子ども会など若い世代が事業を知り、参加することで、地域同士のつながりや新たな交流も生まれるのではないかなと思う。

〈B グループ〉

◎ 委 員

地域力パワーアップ大作戦については、継続する中で参加者が固定化し、新たな参加者が入りにくくなっている可能性もあるのではないかなと感じる。一方で、人から人へ伝わる口コミの力は大きく、参加者から自然な形で事業の魅力が伝わることも重要ではないかなと思う。

◎ 委 員

企業や地域団体がどのような経緯で参加しているのか、参加者の実態に関心がある。また、地域課題に対する問題意識や参加の目的には違いもあると思うが、継続的なつながりが生まれているのであれば意義のある取組だと感じる。

◎ 委 員

初年度から参加していたが、参加しなくなった団体の理由や継続できている事例の分析が必要ではないかなと思う。また、これまで培われた企業や地域とのつながりを可視化し、区民にも分かりやすく発信することで、新たな参加につながるのではないかな。

◎ 委 員

商店街として事業に参加し、地域や企業とのつながりが広がっていると感じている。

日頃から連携関係を築いておくことで、地域課題への対応や災害時の協力体制にもつながるのではないかと思います。

◎ 委 員

過去に参加した際は、他地域の取組を知る機会にはなったが、その後の活動にはつながらなかった。地域活動に関わっていない人には事業の存在自体が十分伝わっていないと感じるため、より分かりやすい周知が必要ではないか。

◎ 委 員

校区自治協議会や自治会でも事業内容が十分共有されていない場合があり、自治会長を含め、多くの地域関係者が内容を理解していない可能性がある。地域へ直接出向き、事例紹介などを行うことも有効ではないかと思う。

◎ 委 員

パワーアップ大作戦に参加している企業や団体が、それぞれのホームページ等で取組を紹介できるような仕組みがあると、地域や企業のつながりがより広く見えるようになるのではないかと感じる。

◎ 委 員

事業参加者や地域団体だけでなく、これまで参加したことのない企業や団体にも関心を持ってもらえるよう、事業紹介や事例発表の機会を設けることが有効ではないかと思う。

◎ 委 員

学校と企業、地域との連携についても可能性があると感じる。一般市民が参加しやすい仕組みや、取組内容が理解しやすい情報発信が必要ではないかと思う。

【テーマ2】地域コミュニティづくり支援補助金について

〈A グループ〉

◎ 委 員

地域コミュニティづくり支援補助金について、継続性を重視する趣旨は理解できるが、申請時点で継続を前提とすることが心理的な負担になっている面もある。まずは単年度で挑戦し、その結果継続につながる形の方が申請しやすいのではないか。

◎ 委 員

PTA など役員が毎年交代する団体では、「継続実施」が条件になると次年度への引継

ぎ負担が大きい。一度試してみることができる制度の方が利用しやすいと感じる。

◎ 委 員

継続性が見込まれる事業には加点を行う仕組みとしつつ、まずは単年度でも応募できる制度にすると裾野が広がるのではないか。また、継続事業についても一定の支援があると活動を続けやすいと思う。

◎ 委 員

資金面だけでなく、事業継続に向けた相談支援や企業とのマッチング、他制度の紹介など伴走型の支援があると安心して取り組める。補助金事業と地域力パワーアップ大作戦を連携させるなどフォローアップを行うことも有効ではないか。

◎ 委 員

立ち上げから数年程度の事業についても対象となる仕組みがあると利用しやすい。活動が軌道に乗り始めた時期に少額でも支援があると助かる。

〈B グループ〉

◎ 委 員

地域コミュニティづくり支援補助金については、新規事業のみを対象としているため活用方法がイメージしづらい。どのような活動が対象になるのか、地域へ丁寧に説明する必要があるのではないか。

◎ 委 員

地域の方々にとっては、補助金制度そのものが身近でなく、どのような活動に活用できるのか分かりにくい。まちづくりセンター等と連携しながら相談しやすい環境づくりが重要だと思う。

◎ 委 員

補助金による支援終了後の継続性が課題であり、事業計画段階から地域力パワーアップ大作戦などとの連携を見据えた支援も必要ではないかと思う。

◎ 委 員

補助金は備品購入に活用される傾向があるが、本来は地域課題解決やコミュニティ形成につながる活動を支援する趣旨であると思う。どのような活動を期待している制度なのかが分かりやすく示されるとよいのではないか。

◎ 委 員

新規事業と継続事業の考え方については柔軟な運用も検討できるのではないかと。一定期間を空ければ再度活用できる仕組みなども選択肢として考えられると思う。

◎ 委 員

補助金の情報を必要な人へ届けるためには、募集時期やスケジュールを早めに周知し、計画的に準備できる環境を整えることが重要だと感じる。

【テーマ3】東区の魅力発信について

〈A グループ〉

◎ 委 員

東区ホームページを見るのは、主に手続きや申請方法、窓口情報を調べる時である。ホームページには必要な情報へたどり着きやすい導線を整備することが重要ではないか。

◎ 委 員

イベント情報はホームページよりも LINE やインスタグラムから得ることが多い。ホームページに掲載する場合は、直近のイベント情報やカレンダー形式で見やすく掲載されると利用しやすいと思う。

◎ 委 員

窓口混雑情報や、どの手続きが区役所・まちづくりセンター・コンビニで対応可能なのかが分かりやすく掲載されていると便利である。

◎ 委 員

定期的な更新日を設けることで、区民が継続してホームページを訪れるきっかけになるのではないかと。また、実施済みの内容だけでなく、今後開催予定の事業やイベント情報の発信も重要だと思う。

〈B グループ〉

◎ 委 員

東区ホームページについては、主に手続きや申請時に利用することが多く、日常的に閲覧することは少ない。必要な情報に簡単にたどり着ける構成が重要ではないかと思う。

◎ 委 員

インスタグラムなどの SNS とホームページを連携させ、イベントや地域情報を分か

りやすく発信できる仕組みがあるとよいと思う。

◎ 委 員

ホームページは情報を探しに行く媒体であるため、関心のない人に見てもらうことは難しい。情報が自然に届く SNS 等との組み合わせが重要ではないかと感じる。

◎ 委 員

東区の魅力発信として、季節ごとの景観やイベントなど視覚的に訴求できる情報を掲載することも効果的ではないかと思う。

◎ 委 員

行政情報と地域情報を整理し、知りたい情報が分かりやすく分類されていると利用しやすい。また、イベントや事業の実績がアーカイブとして残されていると参考になる。

◎ 委 員

東区が実施しているまちづくり事業について、一覧で分かりやすく紹介されていると、市民が事業内容を理解しやすくなるのではないかと思う。

【テーマ4】その他

〈A グループ〉

◎ 委 員

東区内でも地域によって移動しづらさがあり、健軍夜市など魅力的なイベントでも参加を諦める場合がある。イベント開催時に周回バス等の移動支援があると参加しやすくなるのではないか。

◎ 委 員

大雨等による臨時休校時に、保護者が仕事を休まざるを得ない状況がある。保護者による送迎を条件に、学校や公共施設等で子どもを一時的に受け入れる仕組みがあると助かるのではないか。

◎ 委 員

若者まちづくりリーダーズ事業については、高校生だけでなく大学生の参加も検討してはどうか。大学生が地域活動に関わることで、新たな視点や担い手の確保につながると思う。

◎ 委 員

若い世代が地域や企業の活動を継続的に体験できる機会があると、将来の人材育成や地域への愛着形成にもつながるのではないかと感じる。

- 事務局

各事業について委員から多くの意見や提案があり、事務局から謝意を述べた。また、今年度予定している今後のまちづくり懇話会への協力を依頼し、意見交換を終了した。

～ グループワーク 終了 ～

- 事務局

各グループの主な意見について、事務局より報告を実施した。

- ◆ 会長

委員から多様な提案や意見が出され、活発な意見交換が行われたことに対し謝意を述べるとともに、事務局に対し、本日出された意見を今後の事業やまちづくりに活かしてほしい旨を述べた。

- 事務局

委員から寄せられた意見に対し謝意を述べるとともに、第2回まちづくり懇話会については、開催時期及び内容が決まり次第、改めて案内する旨を説明し、令和8年度第1回東区まちづくり懇話会を閉会した。